



北海道造形教育連盟報

No.146 2018.7.1発行

発行 北海道造形教育連盟

会長 森長弘美 (札幌市立前田北中学校長)

事務局長 東 尚典 (札幌市立有明小学校長)

事務局 札幌市立有明小学校

〒004-0821

札幌市清田区有明141-2

TEL(011)881-2949・FAX(011)881-9074

北造連HP <http://hokuzou.kir.jp>



造形教育が培う 「よりよい人生を送る」力

北海道造形教育連盟

会長 森長弘美

(札幌市立前田北中学校長)

4月28日に委員総会・研修会が開催され、本年度の活動が始まりました。大型連休初日にもかかわらず全道各地区サークルの皆様、会員の皆様には多数ご参加いただき、誠にありがとうございました。

さて、昨年3月の幼稚園、小中学校に引き続き、今年3月には高等学校の新学習指導要領が告示されました。今回の改訂では、「生きる力」をより具体化し、目指す資質・能力を「生きて働く知識・技能」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等」「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等」の三つの柱に整理しましたが、いずれも一人の人間が社会を生き抜くために身に付けるべき要素であることを示しています。また、この三つの柱は、「何を理解しているか、何ができるか」「理解していること・できることをどう使うか」「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」として、学びが形となっていく過程をも分かりやすく示しています。

「よりよい人生を送る」とは、自分の適性や能力を生かした職業に就き、社会と関わることで、満ち足りた人生を送ることといえます。どんな職業に就いても、どのように社会と関わっても、様々な場面で「生きて働く力」を子どもたちの中に培いたい。そのためには「主体的・対話的で深い学び」によって、知識や情報を活用し、他者と協働しながら、問題を解決したり、新た

な価値を見出したりする力を育成することが必要になります。

そこで大きな役割を担うのは、私たちが進める造形教育です。日々の体験や身の回りで目にするものの良さや美しさに気づいて豊かに発想・構想し、それを形にするための方法を選んで手順を考え、材料や用具を整え、時には話し合いながら計画に従って作業を進める…といった活動を通して、まさに、「主体的・対話的で深い学び」を実践しているといえましょう。

さらに、北海道造形教育連盟が掲げてきた研究主題「“わたし”を創る～今を生きる、共に生きる造形教育～」には、造形教育で育まれる固有の資質・能力だけでなく、汎用性のある「未来に生きて働く資質・能力」の育成をめざすという思いが込められていますが、これは「未来をよりよく生きるための資質・能力」であり、新学習指導要領の示す「よりよい人生を送る」に通じるものと考えます。

また、7月に開催される第68回全道造形教育研究会空知岩見沢大会では、研究テーマ「おもう・さぐる・つながる・つなげる」の下、子どもたちの未来＝人生につながる実践発表が行われます。新学習指導要領の全面実施が近づく今こそ、北海道造形教育連盟の思いが確かなものであることを、多くの皆様に実感していただけると確信しております。

北海道造形教育連盟役員・本部事務局

- 会長 森長 弘美 (札幌市立前田北中学校長)
- 副会長 山田 浩人 (石狩市立樽川中学校長)
- 副会長 吉中 博道 (土別市立多寄小学校長)
- 副会長 谷口 光伸 (函館市立北昭和小学校長)
- 副会長 藤森 久美 (札幌市立前田中央小学校長)
- 副会長 石割 章浩 (新得町立新得中学校長)
- 会計監査 鎌田 俊博 (江別市立大麻西小学校長)
- 会計監査 滝本 都子 (増毛町立増毛小学校教頭)
- 会計長 福島由紀子 (札幌市立西岡北小学校教頭)
- 会計次長 櫻田 悟 (札幌市立盤溪小学校教頭)
- 事務局長 東 尚典 (札幌市立有明小学校長)
- 事務局次長 湯浅 大吾 (札幌市立鴻城小学校)

- 事務局次長 池田 武彦 (札幌市立南白石小学校)
- 事務局次長 平井 歩 (札幌市立月寒中学校)
- 事務局次長 堀口 基一 (札幌市立桑園小学校教頭)
- 事務局次長 寺田 実 (札幌市立平岡緑中学校教頭)
- 庶務部長 森 久根 (札幌市立西野小学校)
- 庶務副部長 黒川 友理 (札幌市立栄西小学校)
- 広報部長 篠原 貴 (札幌市立桑園小学校)
- 広報副部長 小林 知広 (札幌市立手稲山口小学校)
- 研究部長 中村 珠世 (北海道教育大学附属札幌小学校)
- 研究副部長 石川 早苗 (札幌市立啓明中学校)
- 研究副部長 館内 徹 (札幌市立西岡中学校)
- 研究副部長 佐藤 和音 (札幌市立伏見小学校)
- 研究副部長 菊地 惟史 (札幌市立円山小学校)



「第68回全道造形教育研究大会 空知・岩見沢大会」に期待するもの

北海道造形教育連盟
研究部長 中村 珠世
(北海道教育大学附属札幌小学校)

造形について共に熱く語り合う全道大会に

夏休みが近づくと、「今年も全道大会の時期がやってきた。」とわくわくする方も多いのではないのでしょうか。今年も7月27日（金）、第68回全道造形教育研究大会が空知・岩見沢で開催されます。爽やかな風薫る北海道の夏とはいえ、この全道大会の時は毎年、参加者の図工・美術に対する熱い情熱と、子どもたちに向けるあたたかいまなざしで熱気に包まれます。また、全道各地の仲間とこれからの子ども、これからの授業、これからの図工・美術について語り合うことで、明日への大きなエネルギーをもらったような感じを覚えた方も多くいることでしょう。

私事になりますが、10年前の北広島大会の時に、はじめて全道大会という場で提言をさせていただいたことを思い出します。全道各地から集まった先生方の前で発表するのはとても緊張したはずなのですが、あたたかな雰囲気にもまれたことで緊張よりも楽しさが勝り、つい時間を押して話してしまっていたように思います。その後の討議においても、子どものことを中心に題材や授業のことについて多くのことを学ばせていただきました。年齢や立場、地域や校種を超え、共に造形教育に携わることのよさを改めて感じる機会となったのです。

子ども・造形教育を見つめる

今回の空知・岩見沢大会も、まさに“こども”や“造形教育”を見つめる大会になります。

【空知・岩見沢大会テーマ】

まなざしを共有し、おもいをつなげる造形教育
～おもう・さぐる・つながる・つなげる～

「おもう・さぐる・つながる・つなげる」とはテーマに迫る上で大切にしたい4つの要素であり、これらは造形活動における子どもの姿を基に設定されています。また、この大会は空美で長い間受け継がれ

てきた「子どもの作品を語る会」も兼ねられています。最終案内には「ぜひ子どもの作品をご持参ください、」というメッセージもあり、当日は授業だけでなく作品・表現を通して子どもの内面にある想いや変容、授業者の営みを共に語る場となるでしょう。

造形教育で育む資質・能力に目を向ける

さて、新学習指導要領が告示されたことを受け、各学校をはじめとした教育の現場では資質・能力の育成を中核に据えた授業づくりやカリキュラムの編成が行われ始めていることでしょう。北海道造形教育連盟では改訂を見据えて研究主題を設定する中で、造形教育で育むことのできる資質・能力を次のように考えました。

【造形教育で育まれるブリ・コラージュする力】

- ・材料や場所に働きかけて価値を生み出す力
- ・たくさんの材料や表現方法から選択する力
- ・選択したことを組み合わせでつくり変える力
- ・失敗しても立ち上がることができる力
- ・助け合いながら協働する力
- ・楽しさや美しさなど「感じ」を捉える力
- ・お互いのつくり出した価値に共感する力

大会後には、この“ブリ・コラージュ的”資質・能力と空知・岩見沢大会で見つめる子どもの姿のつながりを、そして新学習指導要領で育成を目指す資質・能力とのつながりを整理し、次につなげていきたいと考えています。

最後になりましたが、準備に携わってくださっている関係者の皆様、本当にありがとうございます。ご苦労されていることも多くあるかと思えます。その「思い」に応えるべく、ぜひ会場の岩見沢光稜中学校にみなさんで集まり、熱い1日を共に過ごしたいと思えます。

第68回 全道造形教育研究大会空知岩見沢大会

第55回 全空知子どもの作品を語る会岩見沢大会



期 日 7月27日 (金)

会 場 岩見沢市立光陵中学校
岩見沢市絵画ホール松島正幸記念館

「まなざしを共有し、おもいをつなげる造形教育」
～おもう・さぐる・つながる・つなげる～

日程・内容

8:30 9:00 9:40 11:00 11:15 12:30 13:30 16:00 18:00 20:00

受付	研究会 基調 行事	公開授業 (時差公開)	移 動	題材屋台 題材提案型 ワークショップ	昼 食 休 憩	分科会 子どもの 作品を語る会	移 動	閉会行事 レセプション
----	-----------------	----------------	--------	--------------------------	------------------	-----------------------	--------	----------------

授業番号	校種・学年 授業開始時刻(時間)	題 材 名	授 業 者	所 属	授業会場+B4:H19
① つなげる	幼稚園年中組 9:50 (70分)	「子どもの見る世界～もりのおふろ」 (表現・工作)	金子 英里 大津充紗子	よいこのくに幼稚園	1階広場
② おもう	小学校全校 10:05 (45分)	「た・ど・し・の・わ・た・し」 (表現・工作)	村山 尚子	深川市立多度志小	2階玄関ホール
③ さぐる	小学校1年 9:50 (45分)	「コロコロべったん」 (表現・絵画)	大野 寛文	岩見沢市立中央小	1階体育館
④ つながる	小学校3年 10:00 (45分)	「美術館へ行こう」 (鑑賞)	佐々木 紗	岩見沢市立中央小	絵画ホール 松島正幸記念館
⑤ さぐる	中学校2年 10:00 (50分)	「見えるかな～パッケージのデザイン」 (表現・デザイン)	橋本 幸枝	夕張市立夕張中	1階体育館
⑥ おもう	中学校3年 9:45 (50分)	「心の窓～未来の私に向けてのエール」 (表現・絵画)	三森 彩美	岩見沢市立光陵中	多目的ホール
⑦ つなげる	高等学校 10:10 (50分)	「見える音・聞こえる形」 (表現・絵画)	棚田 将史	北海道岩見沢緑陵高校	1階被服室

分 科 会	提 言	所 属	アドバイザー	所 属	ガ イ ド	所 属
①	大谷 紋歌 殿平 真	深川市多度志保育園	渡辺 盛二	旭川大学付属幼稚園	石出亜矢子	美唄市立中央小
②	鈴木美奈子	札幌市立福井野小	南部 正人	北海道教育大付属旭川小	上杉真智子	美唄市立茶志内小
③	小澤なつき	留萌市立留萌小	阿部 宏行	北海道教育大岩見沢校	遠藤 孝之	赤平市立赤間小
④	登藤 珠実	教育大釧路校付属小	白井万壽子	岩見沢絵画ホール 松島正幸記念館	棚田 裕美	恵庭市立恵庭中
⑤	西村 徳清	旭川市立神居中	花輪 大輔	北海道教育大札幌校	本間 真紀	妹背牛町立妹背牛中
⑥	渡邊 麻子	千歳市立勇舞中	渡辺 貞之	深川市アートホール東淵館	岩井 敦子	岩見沢市立豊中
⑦	野村 幸伸	北海道深川西高校	平向 功一	札幌大谷大学	板谷 諭使	北海道旭川北高校

第45回 北海道教育美術展のお知らせ

◇作品のご応募をお待ちしています！

幼稚園・保育所・こども園、小・中学校の授業から生まれた作品をお待ちしております。絵画や版画、デザイン画などの作品をご出品ください。

四つ切大の作品を規定(小学生以下)としていましたが、授業時数を踏まえ、高学年は八つ切り大の作品でも応募を可能としました。

近年、貼り重ねたり、開いて見たりするなど、多様な表現の方法が見られます。展覧会で掲示されてもはがれたり破れたりしない作品をご出品ください。

締切(12月中旬)や応募先など詳細は9月頃に各園・各校に送付いたします。

◇審査研修会にご参加を！

全道から集まる2万点近くの作品を見て、そのよさや作品に込められた思いなどを話し合う審査研修会は、造形教育に携わる教師の絶好の研修の機会となります。幼稚園から中学校までの作品を見て、全道各地の先生方と語って研鑽を深めませんか。12月27日(木)28日(金)の日程で行われます。ご都合をつけられ、ぜひご参加ください。

◇展覧会もご来場ください！

奨励賞及び入選作品600点以上を一堂に展示する作品展も、貴重な研修の機会となります。お近くにお越しの際は、ぜひ足をお運びください。

会期 平成31年1月11日(金)～1月14日(月)

会場 道新ぎやらりー及び道新DO-BOX (札幌市中央区大通西3丁目)



根室造形教育連盟活動について

事務局長 安井加奈子

根室造形連盟では「一人一人の持ち味を生かした造形教育」を目標に掲げ、活動をしています。毎年、研究会を開催し日々の実践を振り返りながらも新しい教材を開拓する機会を作っています。美術の教員が減少し、お互いの授業や実践を知る機会が少ない中で、造形連盟の研究事業は貴重な機会となっています。

ある先輩先生から「美術教員は少ないからこそ横のつながりを持ちなさい」と言われた言葉がいつも心のどこかにあります。

目まぐるしく変化する今の時代。児童生徒に「想像力」をつけられる代表の教科として美術科教員が教科だけでなく学校教育全体のカリキュラムの中で想像する力をつけることができるかがポイントだと思っています。今後も原点である楽しい授業「図画工作や美術の授業をもっと増やして欲しい！」と児童・生徒が言ってくれることを目標に、日々、研究活動に取り組んでいます。



あ と が き

図工・美術の時間は子どもたちの素敵な笑顔のあふれる時間です。集中して作品に向かう姿から、子どもたちにとって、表現することが大きな価値があることを実感します。造形教育を通して子どもたちの未来と一緒に考えたいと思います。連盟報も紙面をリニューアルして3年目になります。全道の取り組みを皆さんのお手元にお伝えする紙面を考えたいと思います。

<北海道造形教育連盟 広報部> 篠原 貴・小林 知広